

■安全運転講習等について

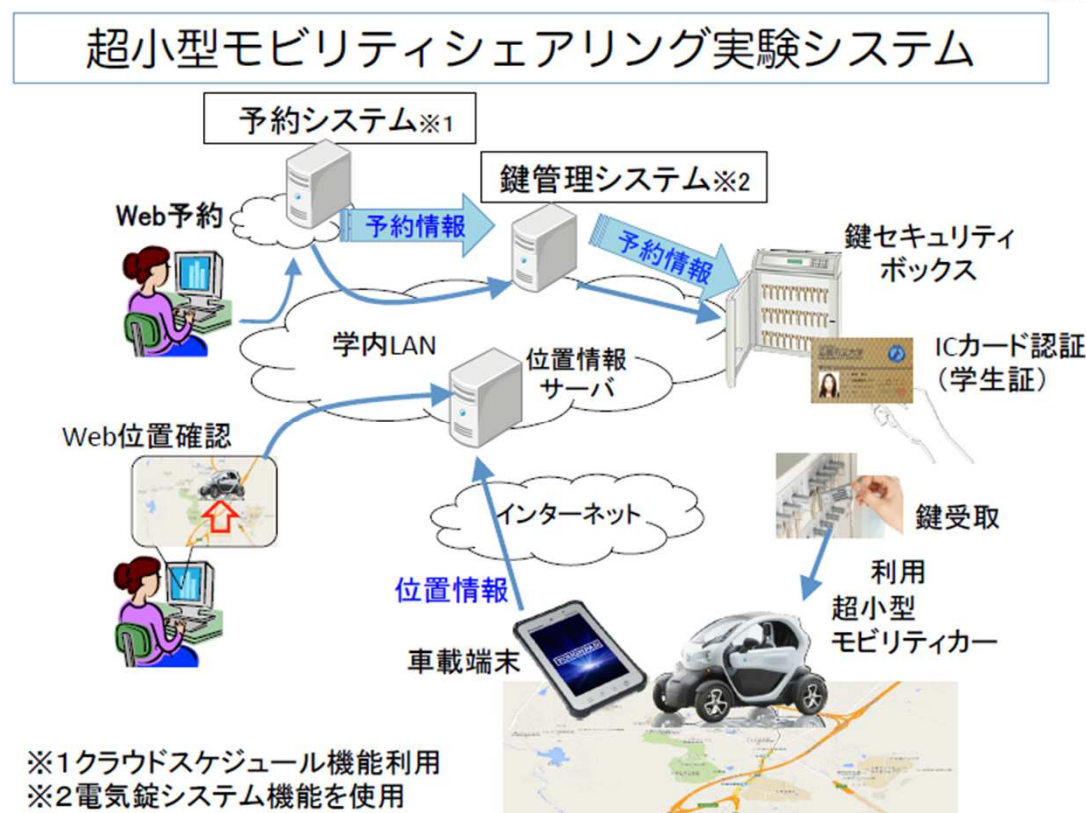
- ・公道走行前には、モニター全員に対して、「安全運転講習」を実施し、安全確保につとめる。

※講習会では、本車両特有の事項、走行可能なエリア、エリア内における事故要注意箇所などを説明。特に、事故要注意箇所についてはマップを作成・活用し、周知を徹底する。

- ・さらに、本車両の特性、操作方法を説明した上で、習熟走行（試走）を実施する。
- ・車両の自賠責・任意保険（対人・対物無制限、車両保険）は市において加入する。

(2)ICT技術の活用検討

広島市立大学と連携(市政貢献プロジェクト)し、次年度以降に予定する共同利用での活用を念頭に、予約システム等の設計・構築を行う。



(3) 車両の認知度向上のための取組

実証実験の期間中に地域イベントや交通科学館のイベントにおいて試乗会等を行い、今回の実証運行の対象地域以外の市民等に対する取り組み等の認知向上を図る。

■出典予定のイベント（調整中）

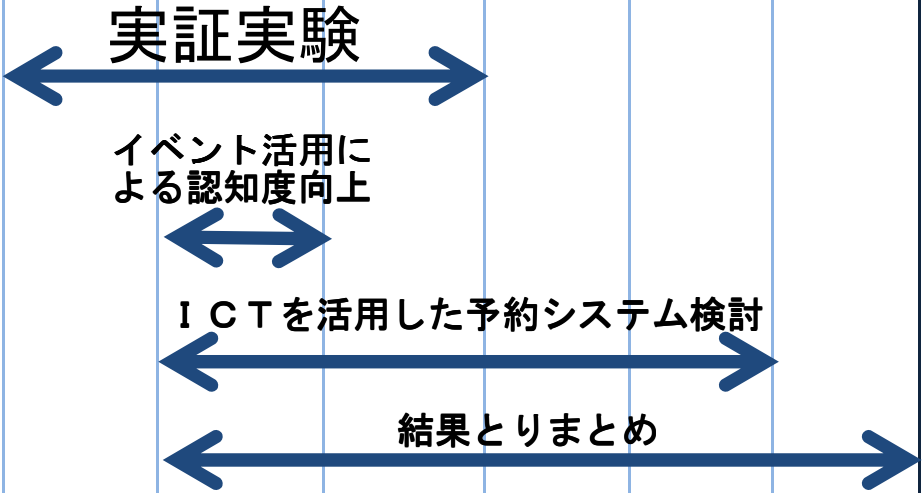
○広島市立大学園祭	11月1～2日
○沼田ふるさとまつり	11月8～9日
○交通科学館イベント	11月15日
○石内公民館まつり	11月23日

IV アンケート調査(案)

- ・利用モニターに, アンケート調査への協力を依頼
- ・実施のタイミングは, 以下を想定

実施のタイミング	調査趣旨	
①利用モニターへの事前安全運転講習(実験開始前)	各モニターの普段の移動手段やモニター参加理由などについて把握する	調査票1 (水色)
②超小型モビリティの利用の都度(実験期間中)	超小型モビリティを利用した状況(経路や目的地など)を記録する	調査票2 (白色)
③貸与期間の終了時 (実験終了後)	共同利用サービスの活用促進のアイデアや, 今後の利用意向を把握する	調査票3 (ピンク色)
	※グループ代表(車両管理者)に対して共同利用における問題点や改善点, 本格導入への課題などを把握する	調査票4 (緑色)

V 今後のスケジュール(案)

	平成26年度							平成27年度
	9	10	11	12	1	2	3	
超小型モビリティの有効性の検証								超小型モビリティの 共同利用システムの 社会定着の検証 (実証実験)
研究会	○ 第1回 ・実験概要 ・調査方法 (今回)			○ 第2回 ・実験の中間 とりまとめ			○ 第3回 ・実験結果について ・次年度の取組について	